

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

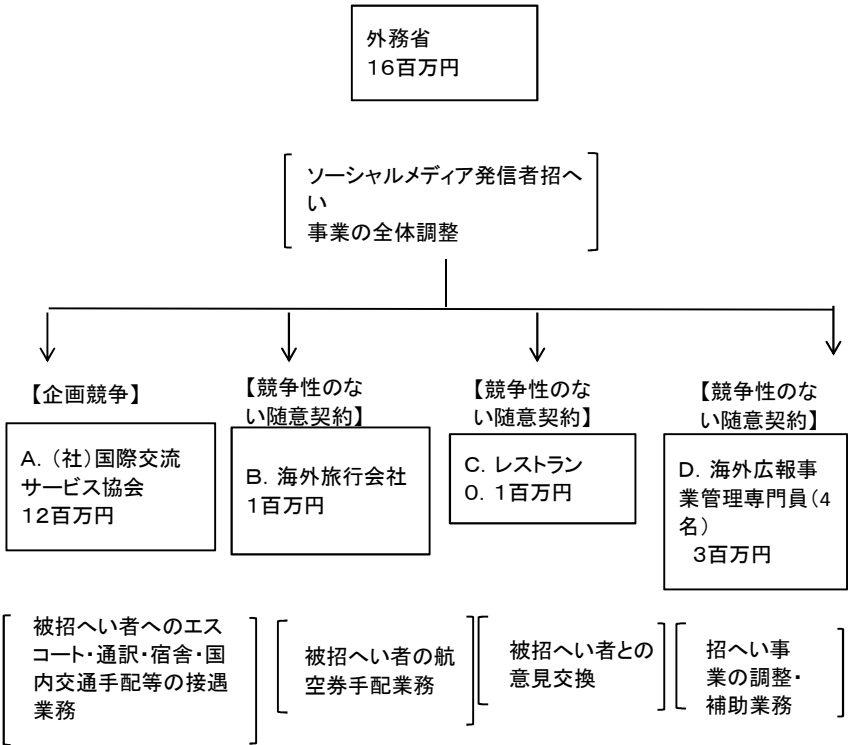
事業名	対日理解促進のための招へい事業 (海外の著名人やソーシャルメディア等で影響力のある発信者)		担当部局庁	外務報道官・広報文化組織		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度補正予算		担当課室	広報文化外交戦略課		課長 米谷 光司		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ－１ 海外広報, 文化交流				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年高い影響力を持つ発信ツールであるソーシャルメディアを活用し、日本の変らぬ魅力や安心安全、及び震災後の復興・発展に関する理解促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	諸外国の影響力のあるソーシャルメディア発信者(ブロガー等)を招へいし、関係施設の視察、関係者との会談等を通じて、我が国の復興等を理解させ、ソーシャルメディア(ブログ、フェイスブック、ツイッター等)を通じて発信させる。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	—	
		補正予算	—	—	25	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	25	—	—	
	執行額		—	—	16			
	執行率(%)		—	—	65			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	招へいを通じた対日理解の促進と風評被害の払拭		成果実績	回	—	—	1.9回, 3.0回, 65.9回	—
	被招へい者1人当たりのソーシャルメディアでの発信回数(左からブログ、フェイスブック、ツイッターの回数)		達成度	%	—	—	163(ツイッターを含めればこれ以上)	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ソーシャルメディア発信者の招へいの実施		活動実績 (当初見込み)		—	—	10 (14)	— ()
単位当たりコスト	1,640千円/件		算出根拠	16,406千円/10件				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計	—	—					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	対日理解を広げるとの点で国民のニーズがあり、優先度が高く、また、地域に片寄らず広く日本を知らしめるとの点で国が実施すべき事業である。不用については、被招へい者都合のキャンセル等によるものとの理由を把握している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先選定にあたっては、企画競争または見積もり合わせ等をもって十分な競争性を確保した。また、事業目的に照らし真に必要な費目・使途への支出につき個々案件ごとに留意すると共に航空賃の大幅抑制等コスト削減に努めた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業の核であるソーシャルメディアは、他の発信ツールとの比較でも特に近年強力で実効性のある手段と言える。活動実績は、概ね見込みに見合ったもの。成果目標（指標）は、発信回数という本事業の目的に合致した適切な指標であり、その達成度は、大幅に目標値を上回った。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		世界的にソーシャルメディアによる情報発信の影響力は高まっており、被招へい者の訪日中および帰国後の発信によって高い広報効果が得られた。	
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		—	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新23-25

個別事業名：

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)



個別事業名：

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.(社)国際交流サービス協会(エジプト)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	通訳、エスコート	0.7			
借料	車借り上げ	0.2			
移動費	国内切符(含むエスコート)	0.1			
宿泊・食費	東京、宮城、広島、京都、奈良(含むエスコート)	0.1			
雑費	入場料等	0.0			
管理費	接遇業務全体の管理経費	0.0			
計		1.4	計		0
B. 阪神トラベル・インターナショナル(株)			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
渡航費	国際航空券	0.7			
計		0.7	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.個人A			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	臨時職員雇用A	1.0			
計		1.0	計		0

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	被招へい者へのエスコート・通訳・宿舍手配	12.0	2	企画競争

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	阪神トラベル・インターナショナル(株)	被招へい者の航空券手配	0.7	随意契約	
2	(社)国際交流サービス協会	同上	0.2	随意契約	
3	北京国翔航空公司	同上	0.2	随意契約	
4	近鉄インタナショナル	同上	0.1	随意契約	
5	HISTラベル	同上	0.08	随意契約	
6	アソシエティッド・ツアーズ	同上	0.06	随意契約	

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エービーシースタイル	被招へい者との意見交換	0.06	随意契約	
2	(株)ニューオータニ	同上	0.01	随意契約	
3	大東企業(株)	同上	0.01	随意契約	
4	(株)食文化総研	同上	0.01	随意契約	
5	(株)ふるさと往来センター	同上	0.01	随意契約	
6	(株)グランドパレス	同上	0.01	随意契約	

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	招へい事業の調整・補助業務	1.0		
2	個人B	招へい事業の調整・補助業務	0.6		
3	個人C	招へい事業の調整・補助業務	0.5		
4	個人D	招へい事業の調整・補助業務	0.4		